

タイトル

Flower Party=BuddhistMas はスイーツの祭典! で地域活性化!

応募者

原澤雅和さん（神奈川県、自営業）

アイデアについて

①アイデアのタイトル

Flower Party=BuddhistMas はスイーツの祭典! で地域活性化!

②アイデアの対象となるお寺の環境は? (例: 過疎地・過密地・市街地・農村・漁村・島等)

ショッピングセンターや商店街、道の駅、農協など人が集まる場所と提携できればどこでも場合によっては公民館や地域センターなどでも可。個人営業のスイーツ店でも。

③アイデアの対象となる人たちは? (例: 地域の子どもたち、小さい子を持つお母さん、若者等)

小学生程度の子どもと、その親が第一。協力者として商店主など。

④アイデアの概要 (目的・方法・効果などを、200字程度でお書き下さい。)

花祭り（降誕会）を春の喜びの祭りとして、日本に再定着させる。
3～4月は、進学や就職がないヒトたちに対してアピールできるハレのイベントが実は少ない。
年末はキリストの降誕を理由に大いに賑わうのであるから、新年度、釈迦降誕会で盛り上がってもらいたい。幼少期に楽しい経験をすることで、お寺への親しみを定着させ、「墓と葬式」以外でのお寺との関わりを広げてゆく。

⑤アイデアの内容（アイデアについてできるだけ詳しくお書き下さい。）

地域のショッピングセンターや商店街に対して、花祭り・降誕会を横文字で「Flower Party-Buddhistmas」と称して、春のイベントとして利用する事を提案する。

お寺で行う花祭りをイベントの核としてもらい、花見などの地域のイベントとも連動させる。

檀信徒以外への一般参拝客対策として、「花祭りはスイーツの祭典」という面を打ち出す。積尊に降り注いだ甘露水を、アマチャに限定せず、スイーツにかけられる「甘いもの」すべてが甘露水であるとの解釈のもと、「Flower party-Buddhistmas」を統一テーマとして、参加団体に自由に発想を広げてもらう。

単純に、春のセールタイトルの使ってもらっただけでも良いし、花祭り会場をスタート・ゴールにした街のスイーツ食べ比べラリーを開いたり、レシピ募集などを行うことも考えられる。

いきなり地域を巻き込むことが困難な場合は、まずは境内から始め、スイーツ限定の縁日を開く事からでも良い。

例えばアマチャではなく、チョコフォンデュタワーを用意し、チョコを甘露水に、丸いカステラなどをご利益に見立てていただくなどはいかがでしょうか。

⑥添付資料（ここに記入しきれない内容、イラスト、写真、作品等の資料があれば別途添付して下さい。）

なし